

# 新型コロナウイルス感染症対策

テイクアウトに利用 お持ち帰り DE お得券

経済効果は **1億 1219万 7000円**

外出自粛により売上げが減少している飲食店などを支援するため、5月2日から販売していた「お持ち帰り DE お得券」は、8月31日で事業が終了。販売枚数は3万7399枚で、発行総額は1億1219万7000円となりました。

持ち帰り（テイクアウト）を実施している登録店舗で使用でき、1セット当たり3000円分の商品券を2000円で販売。コロナ禍を乗り切ろうと、市内139の店舗が参加しました。

**問い合わせ** 企業誘致商工振興課 (☎ 8276)



市内の持ち帰り実施店舗では、弁当の予約販売などが行われた

Amazonでも販売 総社デニムマスク

受注枚数が **22万枚突破**



7月31日、総合福祉センターで行われたAmazon販売開始発表会

数量限定秋モデル販売中！



【窓口販売価格（税込み）】

- ・デニム×ブラウン、デニム×グリーン…1枚 700円
- ・ブラウン、グリーン…1枚 500円

マスク不足の解消と給与・工賃の向上を目的に、市内の障がい者就労継続支援A型・B型事業所が共同で生産している総社デニムマスク。3月16日に販売を開始し、9月15日時点で受注枚数が22万枚を超えました。

紺色の通常モデルに加え、裏地が清涼・速乾タイプの夏モデルや新色の秋モデルも数量限定で製作。以前は予約販売でしたが、現在は市役所窓口で購入できます。7月末からは、インターネット販売サイトAmazonでも取り扱いを開始しました。

市役所では午前11時から午後1時まで、1階セントラルロビーで販売。大・中・小（ちびっこ）の3サイズを展開しています。

**問い合わせ** 総社デニムマスク実行委員会 (☎ 090-2801-4405)

PCR検査センター開設へ向けて

## 吉備医師会と合意 検査体制を強化

吉備医師会と市は、新型コロナウイルス感染症の検査体制の充実に関する覚書を締結。今後、各医療機関でのPCR検査を推進し、PCR検査のための検体を採取する「そうじゃ新型コロナ検査センター」の開設準備を行います。

9月2日、市保健センターで覚書締結式を開催。出席した吉備医師会の平川秀三会長は、「いまだ収束のめどが立たない新型コロナウイルスに対し、市と共に包括的な取り組みを行っていききたい」と、市長は、「そうじゃ新型コロナ検査センターの開設は、検査体制の強化や市民の不安解消につながる」と述べました。

検査センターの開設時期や場所については、市内の感染者や検査が必要な人の増加状況などを考慮して判断します。



覚書を手にする吉備医師会の平川会長と片岡市長（写真右から）

**問い合わせ** 新型コロナウイルス感染症対策室 (☎ 8259)

そうじゃ総合教育会議と人権尊重緊急集会を開催

## 新型コロナ感染者の人権を守る



子どもの人権侵害や学校への誹謗中傷防止策を話し合った

新型コロナウイルスに関する教職員や児童・生徒に対する人権侵害防止策を講じるため、8月21日に総合福祉センターでそうじゃ総合教育会議を開催しました。

会議では、総社市立学校の教職員の感染や臨時休校、接触があった生徒らのPCR検査の状況などについて説明。委員からは、「新型コロナウイルス感染症について正確に知ることが不安の解消につながる」、「生徒や保護者、教職員などそれぞれに対し、人権教育の研修や指導を行う必要がある」といった意見が出されました。

**問い合わせ** 政策調整課 (☎ 8213)

新型コロナウイルスの感染に関する人権侵害を防止するため8月21日、総合福祉センターで人権尊重緊急集会を開催。地域づくりコミュニティ協議会の各会長や人権擁護委員が出席しました。

感染者や学校の対応などについて説明を受けた出席者からは、「感染者やその家族の人権を守り、差別のないようにしなければならない」、「人権相談などの窓口も利用してほしい」などの意見がありました。

**問い合わせ** 人権・まちづくり課人権啓発係 (☎ 8253)



市長は、「これからの最重要事項は、感染者やPCR検査の受検者を誹謗中傷から守ること」と述べた